

## 「NO DRUGS KYOTO' 12」宣言

最近の薬物乱用の状況を見ると、薬物事犯の検挙者数は、ここ数年、全国で1万4、5千人台で推移し、府内でも、毎年、若者による大麻事犯が発生しています。

また、最近では、いわゆる脱法ドラッグの吸引による救急搬送事案や重大な交通事故が全国で多発するなど、憂慮すべき状況が続いています。

未来の京都を担う若者たちが、薬物のために自分や家族の人生を狂わせるようなことが決してあってはなりません。

このため、昨年、全国に先駆けて、PTA、青少年団体、学校、業界団体、薬物乱用防止指導員、行政機関など100を超える団体の関係者が一堂に集まり、オール京都で予防啓発活動等に取り組む「府民会議」を設置しました。

我々は、本日の総会を契機に気持ちを新たにし、府民、特に青少年の薬物乱用ゼロを目指し、薬物の恐ろしさと乱用防止を広く訴えていくことを、ここに改めて決意するものです。

「NO DRUGS KYOTO」を合言葉として、自分や自分の大切な人を守るよう、一人ひとりが、「NO」と言える勇気を持ち、夢や希望、そして笑顔のあふれる未来の「京都」をつくっていきます。

平成24年11月4日

きょうと薬物乱用防止行動府民会議